

令和5年度 事業報告

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

令和5年度は、5月に新型コロナウイルスの感染症法の分類が「5類」に引き下げられ、経済活動がコロナ禍前に戻ったことで、マスク生活も減ってきたと感じられます。

毎年災害が起こる昨今、令和5年も5月5日の石川県能登地方で震度6強の地震が発生し、6月から8月にかけては各地で大雨による被害が発生しました。年々災害規模が大きくなってきているように感じます。幸い令和5年度は大きな台風の上陸はありませんでしたが、台風の規模も急速に大型化してきております。

年が明けて、1月1日に、またしても石川県能登地方で震度7の地震が発生し、この地震によって大きく地盤の隆起や、液状化、そして住宅の倒壊が起きました。行政による復興が進められておりますが、道半ばといった状況であると言えます。

建設業界全般ですが、前年度と同じく厳しい経営環境のままです。海外情勢の不安定による資材の高騰、少子高齢化による後継者不足や人材不足、コロナ禍による倒産件数の増加等そして、待ったなしの建築業界2024年問題等々が突きつけられています。

このような中であっても、我々全瓦連加盟の事業所は「2021年改訂版 瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」を遵守し、確実な施工をすることが肝要です。瓦ガイドライン工法を昨年来よりの「住宅・建築物安全ストック形成事業」とリンクさせることで、各地域で事業制度化を推し進め、「住宅・建築物安全ストック形成事業」導入自治体を増やすことができた一年になりました。

令和5年度の主な事業活動を下記の通りご報告いたします。

記

主なる事業報告事項

◎指導・PR委員会

【指導関係】

1. 追加改訂瓦ガイドライン工法講習会の開催
2. 瓦復権のアンケート実施および取りまとめ

【PR関係】

1. PRグッズのリニューアル及び販売
2. PR大賞実施方法の検討とその実施
3. PR冊子の改訂・新作の検討

◎技術・安全委員会

【技術関係】

1. 改訂瓦ガイドラインに関する、例示工法や使用材料の調査公表
2. ガイドライン工法人工積算シートの啓発
3. 国交省及び各種行政団体への協力

【安全関係】

1. 各種保険制度の加入促進
2. 労働災害撲滅に関する啓発活動
3. 全瓦連カレンダーの作成と新しい企画の検討

◎災害対策・危機管理室

【災害対策】

1. 災害発生時の対応マニュアルに基づくヒアリング
2. 一定規模以上の地震発生時に調査チームの派遣
3. 全瓦連 HP を通じて、被害情報の適時発信や報告書、事例の情報発信

【SDG s】

1. 全瓦連講習会を通して会員の意識の向上、人災育成を目指して活動(二委員会連携)

◎その他

1. 第32回技能グランプリ
2. 国立研究開発法人 建築研究所
実大強風雨発生装置屋根風圧係数・瓦飛散実験共同研究
(3カ年計画の2年目)
3. 登録基幹技能者制度創設のための調査・研究
4. 全瓦連ホームページ/メンバーズサイトリニューアル
5. 全瓦連の将来像アンケート実施